

入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の平成29年度第1回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時 平成29年5月19日（金） 14：00～16：00

会 場 北九州市庁舎15階 15C会議室

平成29年度 第1回 北九州市入札等監視委員会 議事概要

1 会議名

平成29年度 第1回 北九州市入札等監視委員会

2 開催日時・会場

開催日時 平成29年5月19日（金）14:00～16:00

会場 北九州市庁舎15階 15C会議室

3 出席委員（五十音順）

今泉 恵子、上地 和久、中尾 美佐、松田 亨

4 議事

（1）平成28年度第4四半期の工事契約状況等の報告

ア 次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

イ 報告における質疑等

（問） 独占禁止法違反行為において、同じ案件で数社指名停止になっている場合もあれば、1社のみが指名停止になっている場合がある。これはなぜか。

（答） 市の指名業者のみが、指名停止の対象となるためである。

（問） 匿名投書があり、入札の公平性の確保と談合の未然防止についての意見だった。市としてはどう考えているか。

（答） 現在は、電子入札が導入され、数多くの事業者を指名していることなどから、大きな問題はないという認識である。

（2）平成28年度第4四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、平成28年度第4四半期に契約をした工事の中から、松田委員が10件（契約課契約分8件、西部整備事務所契約分2件）を抽出した。

イ 審議における質疑等

（問） 総合評価、一般競争入札による港湾事業で、落札者の技術点が4位と、総合評価案件中一番低かったので、総合評価の内容と、事業の概要について伺いたい。

（答） 本事業は若松区北東部沿岸の廃棄物処分場を作るもので、平成26年からスタートしたものである。入札において落札業者は、技術点では4位であったが、価格では技術点が1位の業者より、930万円ほど安かった。よって総合評価として1位となり落札に至った。

（問） 総合評価、一般競争入札による建築工事で、14社参加しているが、最終的には1社しか残っていないので、経緯を伺いたい。

(答) 設計では、最新鋭の品質の高い部材が指定されていた。業者はメーカーからなるべく安く部材を買い入れようとするが、今回はメーカーが最新鋭の部材ということで値引きをしなかったため、全体の利益見込みにも影響し、結果人気のない工事となった。

(問) 指名競争入札による造園工事で、件名が「景観整備工事」だが、具体的には工事内容を伺いたい。

(答) 撥川は、八幡西区に位置し、帆柱山を源に、洞海湾に注ぐ都市河川である。昭和45年から、川の氾濫を防ぐため川幅を拡張し、市民に親しまれる川とする都市基盤河川改修事業に着手し、平成28年度に完了したものである。

(問) 指名競争入札による機械器具設置工事であるが、他と比べ落札率が異常に低いため、詳しい入札状況を伺いたい。

(答) 本工事は、最低制限価格を設けていない。値引きの対象となるような一般的な部材の使用が可能であること、3台というまとまった台数での発注であること、工期に余裕があること、工事を受け持つのがメーカー自身であることから、利益が出やすかったという要因がある。また、今後のメンテナンスも受注できることもから、将来的な利益も見込み、落札率の低さにつながった。

(問) 指名競争入札による建築工事で、45社指名しているが、落札率が99.7%と異常に高いため、詳しい入札状況を伺いたい。

(答) 工種では建築工事になるが、トイレ工事の場合、多くの部分を下請に出さざるを得ないため、利益が出にくい。よって人気がなく、辞退が続出し、落札率が高くなった。

(問) 指名競争による土木工事で、41社指名しているが、落札率が異常に高いことから、詳しい入札状況を伺いたい。

(答) 本工事場所はJR小森江駅の南側に位置し、都市高速の出入口にも近い。よって、JRの利用者が多く、交通量も多いことから、工事が分断されがちである。さらには、道路が川の上にあるため、ある程度の技術力が必要であることから、落札率が高くなった。

(問) 指名競争入札による解体工事で、21社指名しているが、落札率が異常に高い点と、工事内容について伺いたい。

(答) 折尾総合整備事業の一環として、折尾駅北口の前面に立つ「折尾銀座街」の解体工事行うものである。折尾駅は利用者が多いため、工事が分断されることが多く、また、JRと近接していることから、JRとの協議も必要となる。よって7社が辞退し、さらには8社が最低制限価格を下回ったため、落札率が高くなった。

(問) 指名競争入札による電気工事で、落札率が5割を割る低さであることから、詳しい入札状況を伺いたい。

(答) 最低制限価格を設けていない工事である。今回は本工事で利益を出すこ

とができないとしても、その後のメンテナンスを受注することで、工事分のもとを取った上で、利益を出せると見込んだと思われる。

(問) 指名競争入札による土木工事で、落札率が非常に高いため、その理由を伺いたい。

(答) 本工事は、工期が年度末であったため、業者が既に手持ちの工事を抱え、技術者が配置できないことなどから、17社が辞退したと推測される。また、入札におけるランダム係数が1.0096と高かったため、落札意欲のあった業者が、入札で最低制限価格を下回るという現象が生じ、結果、落札率が高くなった。今年の4月から、ランダム係数が1.0001から1.005までと引き下げられたため、今回のような案件は減ってくると思われる。

(問) 指名競争入札の造園工事だが、工事内容について伺いたい。

(答) 本工事は、夜宮公園（梅林）整備工事の一環として、弓道場の跡地を、隣接している梅林と合わせて梅のビューポイントとするため造成工事を行うものである。また、当跡地は公園南口の入口に近いことから臨時駐車場や多目的広場として整備し、園路工事も行うものである。

※ 次回の委員会は、平成29年8月18日（金）に開催することとなった。